

標記等議ニ就テハ既報ノ處其後ノ經過左記ノ通

一、經過

記

(1) 勞働者側

依然繫船シテ氣勢ヲ張リツ、ヤリテ積荷ノ分ハ事業主ト協定ノモトニ送荷先ニ發航シタル又荷揚終了ト共ニ繫船場ニ帰還シツ、アリ

(2) 事業主側

事業主側ハ本月二十五日組合側ニ對シ回答ヲ為ス等ナリシ又船夫カ回答前ニ積荷船ヲ空船ト共ニ繫留シタル為メ其ノ加盟スル東京解回漕業組合側ト

協議ノ結果二十五日正午頃全組合幹事長馬場伊之助東京回漕業共濟會事務長平垣貞光ト共ニ人夫船夫等數十名ヲ率ヒ繫留現場ニ赴キ積荷船ヲ荷主方ニ回漕スベク然通スル處アリシガ結局現場ニ未合ヌタル組合代表佐藤恕ト交渉シ積荷ノ分ハ直ニ荷主先ニ回漕スル事ニ協定ナリ夫々目的地ニ向テ出發セリ尚事業主ハ一切ノ交渉ヲ解回漕業組合ニ一任セリ

(3) 交渉状況

二十八日午前十時三十分ヨリ水上警察署ニ於テ事業主代表平垣貞光外一名ハ組合代表佐藤恕外一名